





その夜
何かの気配を感じ
ふと
上を見上げていた

あれ・・は
近ごろうわさを
聞かなくなった
セーラー戦士では
ないのだろうか
などと思っていると

一人ふってきた



しっかり！
しっかり
して下さい！

もっさり

男の視点



あー！
目も
むいてる

そりゃ
セーラー
のパワー
でなぐっ
ちやえは

キヤあ！
ごめんなさい
ごめんなさい



肋骨の複雑骨折
その他もろもろで
とうぶん入院



まあ
しかし悪いこと
ばかりではなかった



ポットに
お水入れて
きます

あの日以来
彼女が毎日見舞いに
来てくれるように
なったのだ



最初は
大変だったが

ごめん
ごめん
ごめん
なやい



3ポット

ぐいっ

あとで
看護婦さんに
してもらおうから



あー
いいよ
いいよ
置いて





わたしって
役立たず

はあ

今日もお見舞い
えらいわねー

どうしたの
沈んじゃって

看護婦さん

男の人が
してもらって
うれしいことって
わかりませんか

わかる
わかる
簡単よ

せひ!
せひ
教えて
下さい



おはよう

H

ずばり
若い女の子との



あのも
ごめん

その

それと
コンドームはダメ
生挿れ中出しよ

わたしでも
いいんです
しょうか

若い
でいいよ

こ...
好みによるんじや
ないかしら

やっぱり

12才

小学の
年生

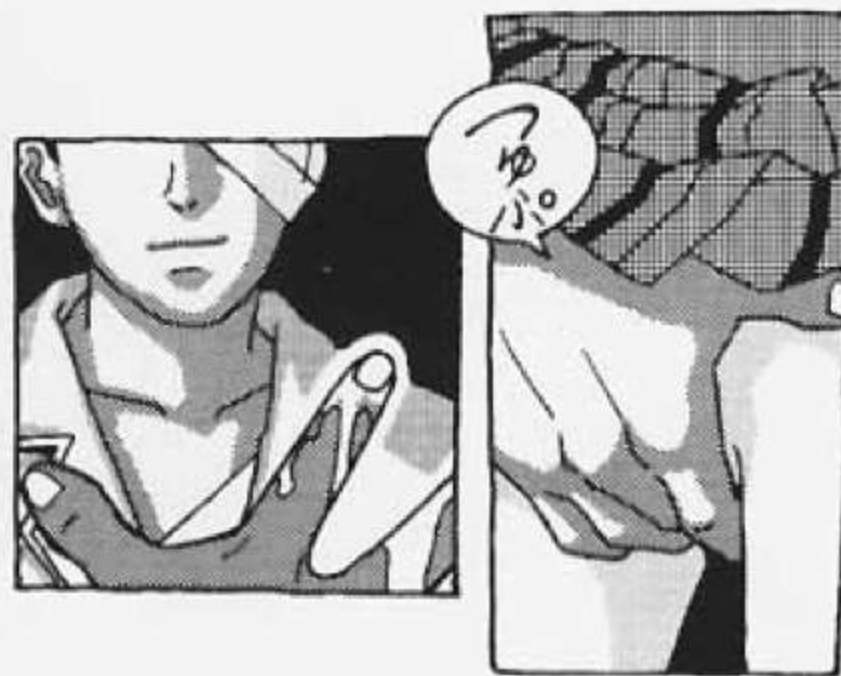


でも・・・
それが今のわたしに
できることだとしたら

あの・・・
お願いが
あります





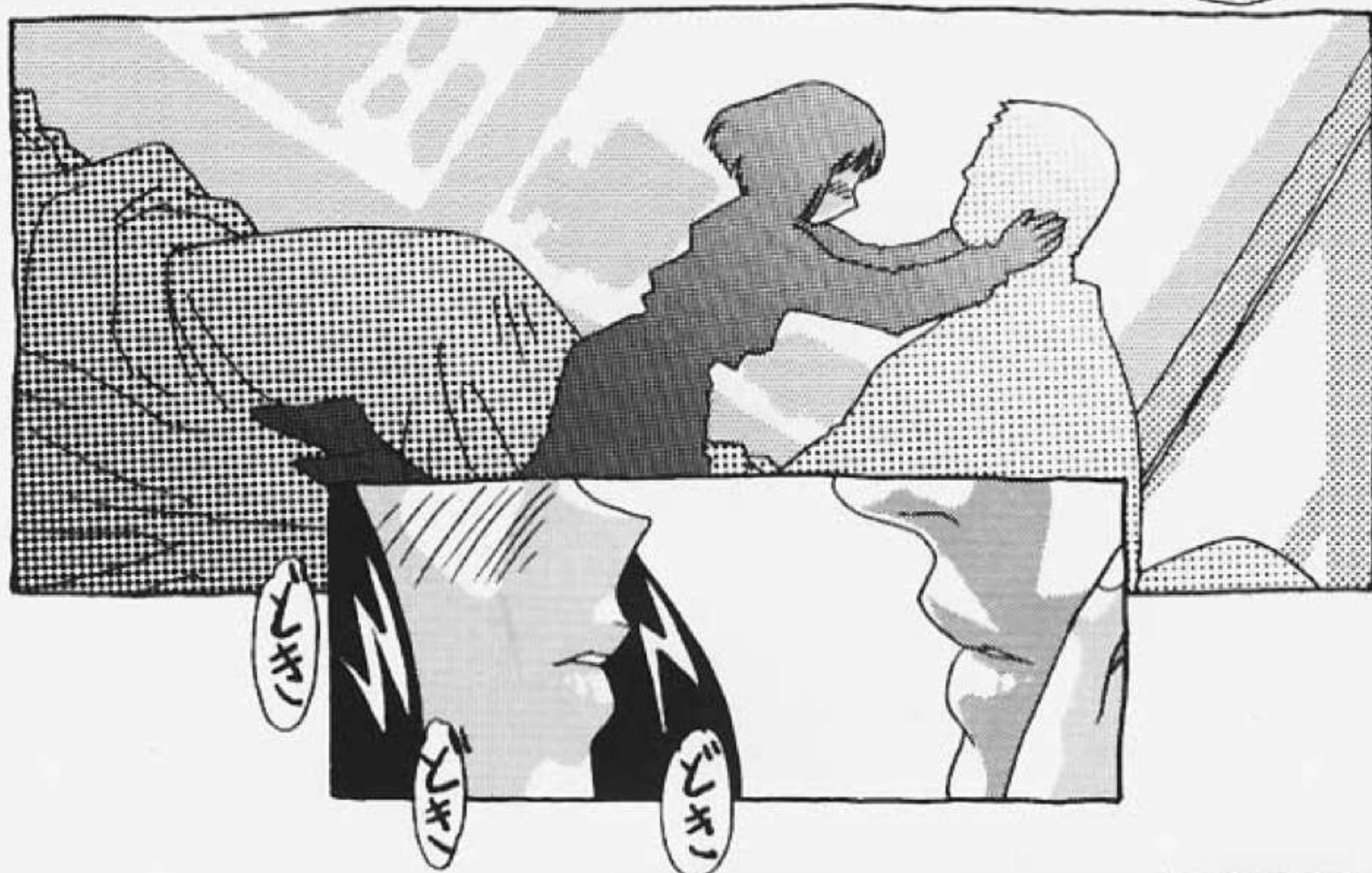


中を先で
ノックする



クリトリスを
丹念に舐め







これで
おわびは
おわり
わかった？

はい

こんな美少女が
処女をくれると
言うのだ
欲しくないわけがない

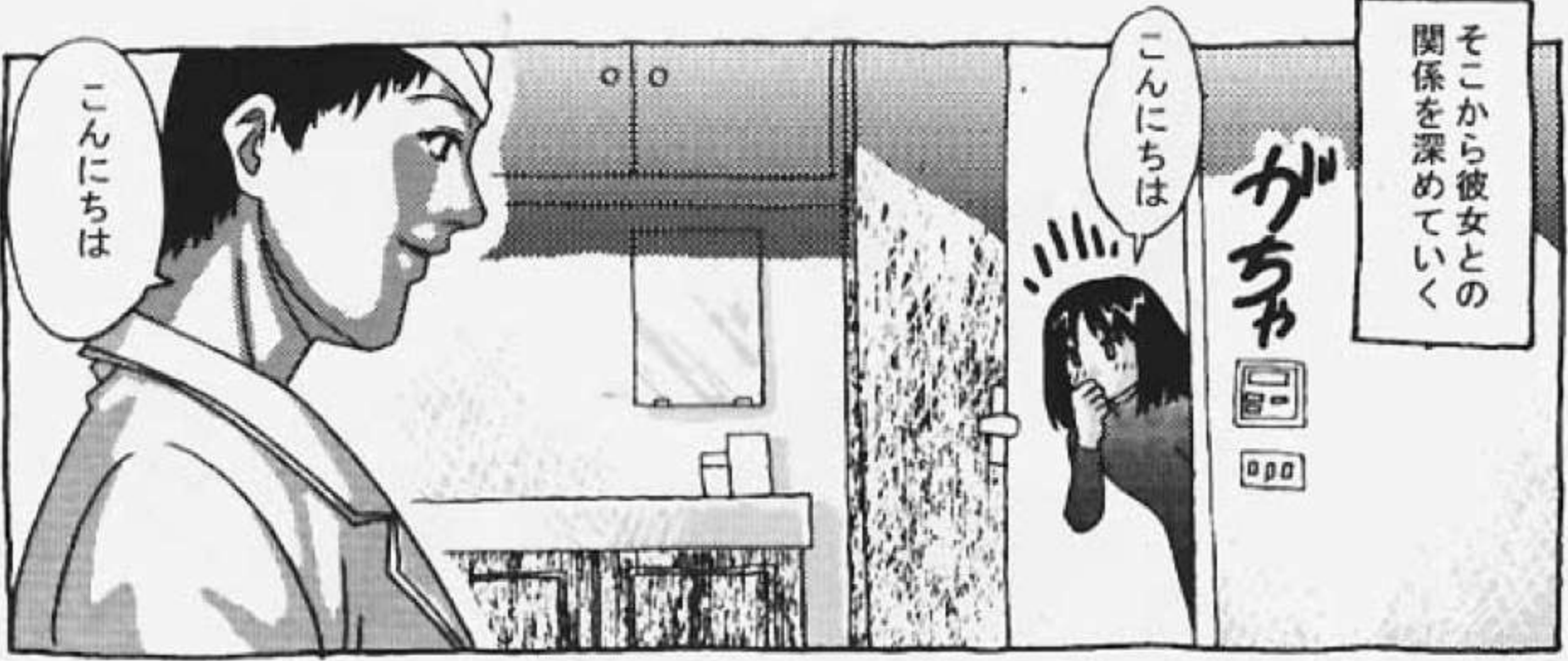
人は他人に対して
ガードがある
自分からキスを
したこと
体の一部を
他人にゆるしたのだ
そこがガードの
ほつれとなる



ファーストキス
余韻中

ぼー

ただ
おわびという形では
できたとしても
一回だけだろう
それではイヤだった
もっと深く
彼女が欲しかった
だからキス



こんにちは

こんにちは

そこから彼女との
関係を深めていく

がちや



え？

あ

あ
はい



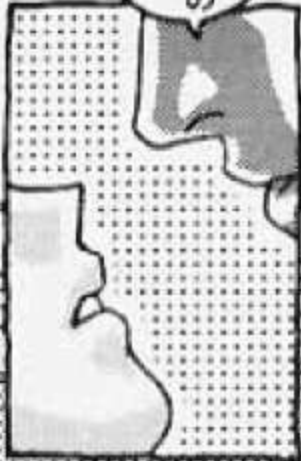
またほたるちゃんと
キスしたいんだけど

いいかな？



そっ・・・と
やさしく

キスするの
好き？



その・・・
しているときは
心が
ふわふわして

気持ち
いいですから



じゃあ
大人のキス
してみる？

?



でも・・・
わたし
どうしたら
いいのかわかんない

口をちょっと
あけてくれれば
いいよ



警告中



男を知らない
その場所に
舌を挿入する

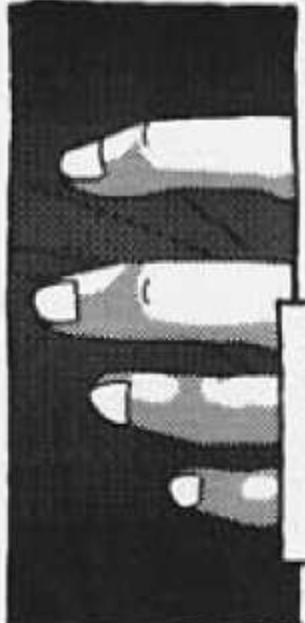


おすおすと
開けられた口



鼻息から
彼女も興奮
しているのがわかる

疑似的な
SEX



腰が
もじもじと
動いている

一度 おとこによって
絶頂をおぼえた体に
ディーブキスで
火をつけられたのだ



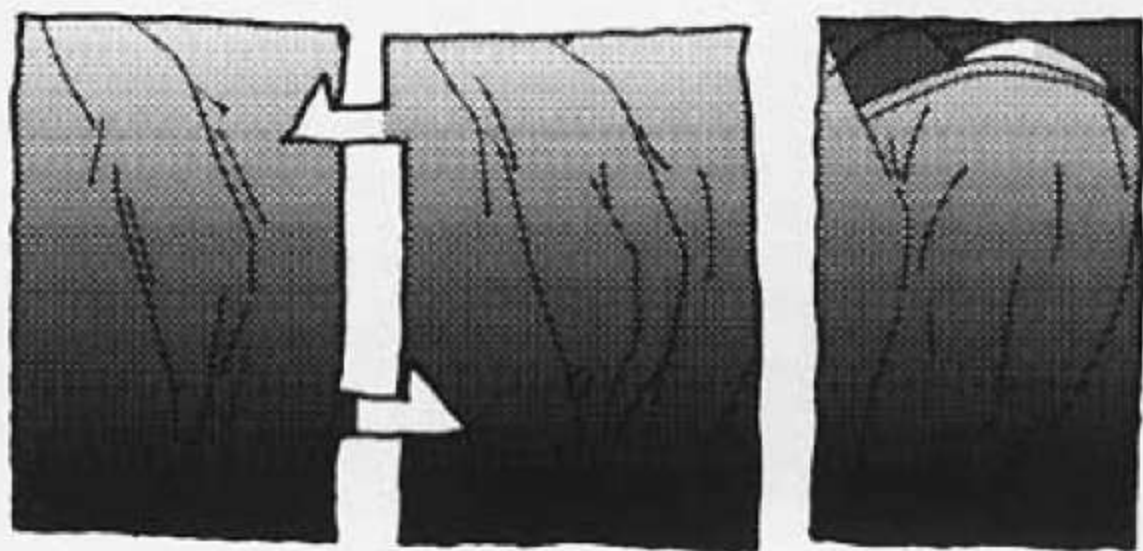
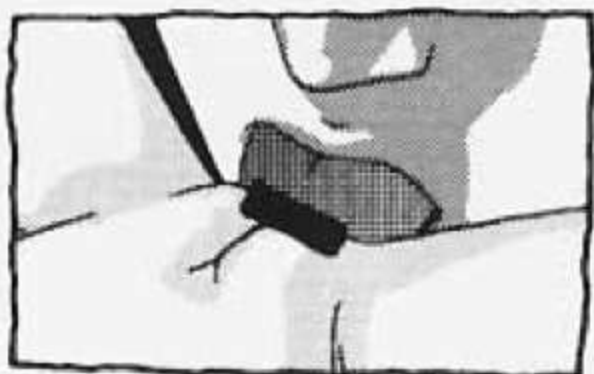
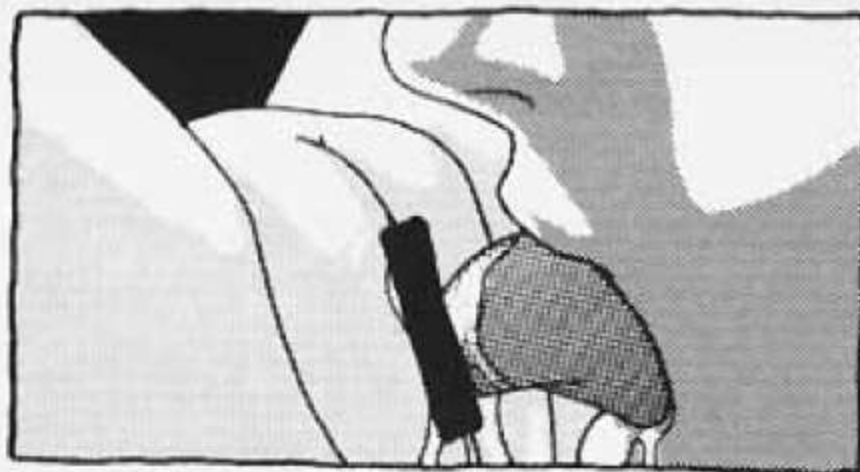
自らを
慰めるために
指が動く



ほてった体は
自然には
おさまらず

あのときの
快感をもとめて





欲求不満が
つのっていく



しかし
未熟な自慰では
舌ほどの快感を
得ることはできず



いいよ
その
かわり

憶えたばかりの
性的快感に
抗うことができず
男の舌によって
二度目の絶頂を
むかえようとしていた

脱すかしそつに

しかし
とても嬉しそつに
落ちていった



交換条件として
彼女にも口で
してもらおう

生まれて
初めての
フェラチオを

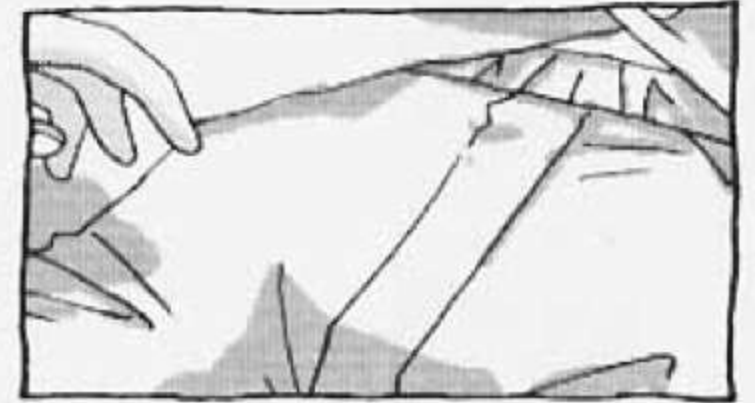


!

彼女の
指先が
ベニスにふれた



ニムッ



少しのためらいの後
手のひらで
優しくつつみこむ

少しづつ
引いてみる



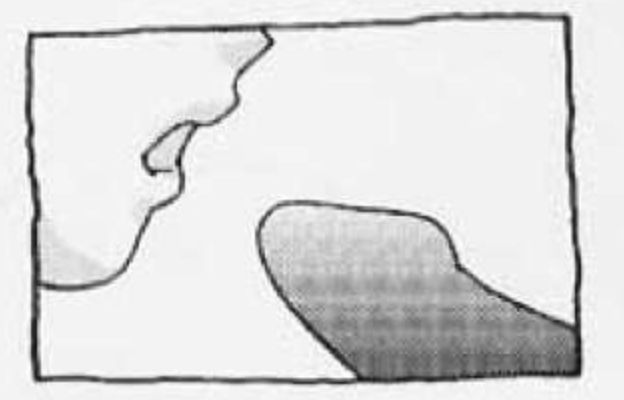
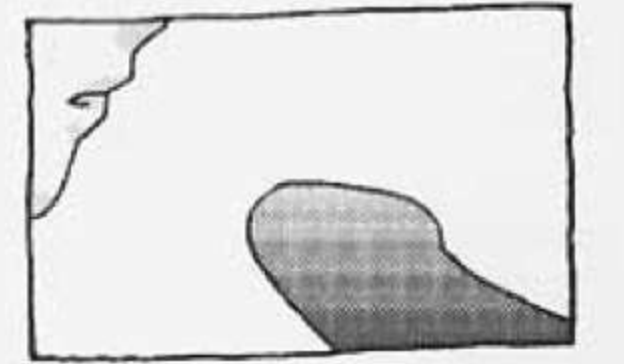
ぶるん

勢いよく
飛び出した
モノを見て
彼女が固まった

あ

ムリもない
男になったベニスを
見るのは
初めてだろうから

ひん





教えられたとおり
頭を動かして
いるだけ

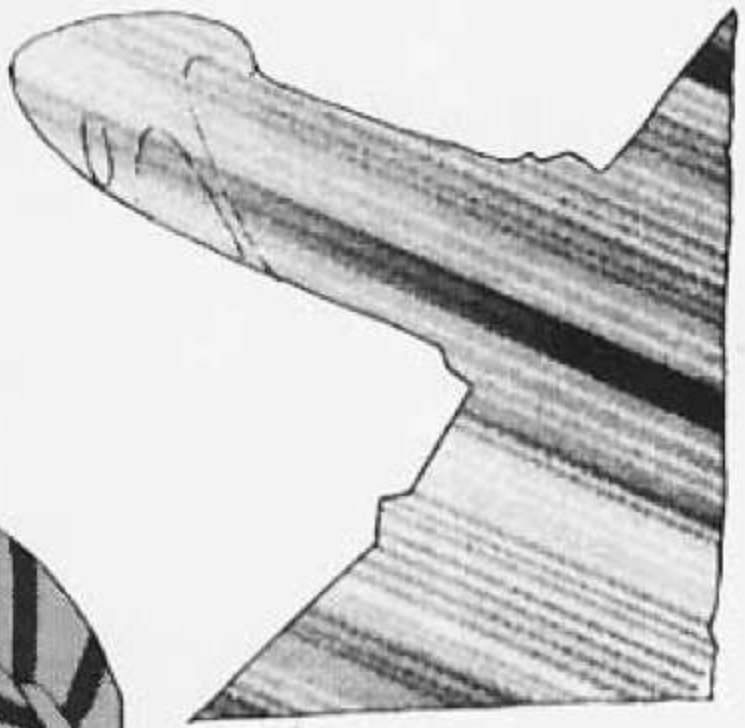
テクニクと
呼べるようなものは
なにもない



今はそれを
楽しむ



初々しさなど
すぐに
なくなるものだ





大丈夫です

可愛かったのだから
抱きしめて
おいた

大好き





わたしなら
かまいませんが...

あ...



あ



...



あわが
います!!

また
おわび?



だから

だから



あの時から
これは
わたしにとって
大切なきずな
なんです



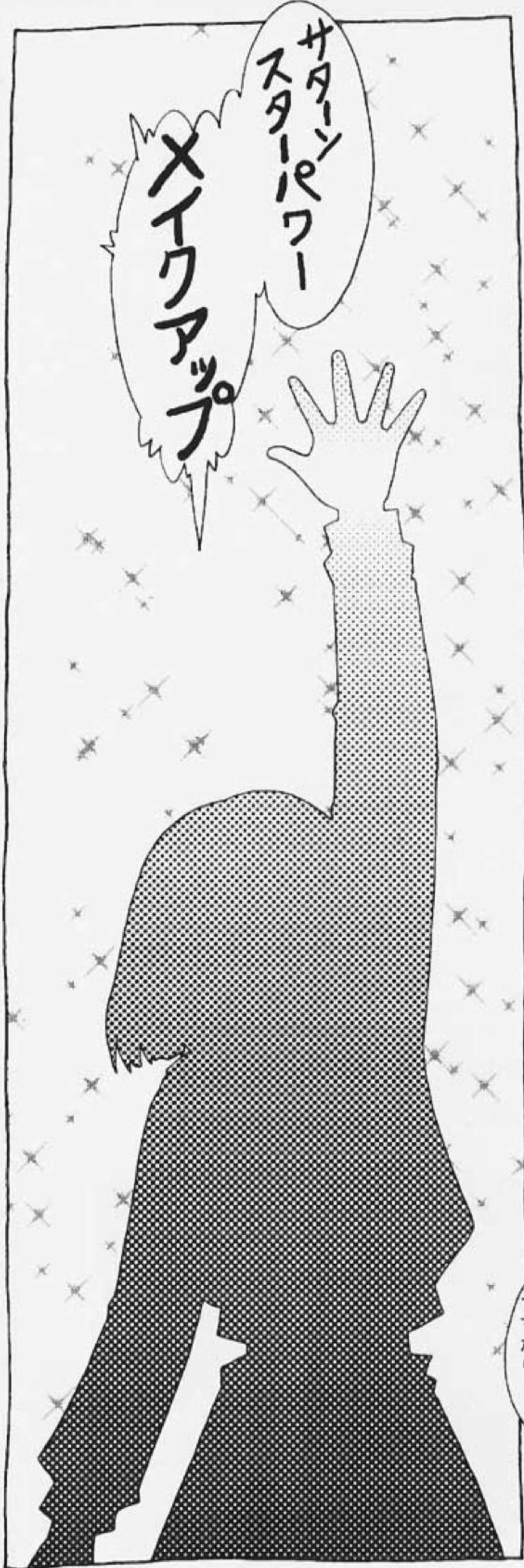
ちが
います

ギョッ

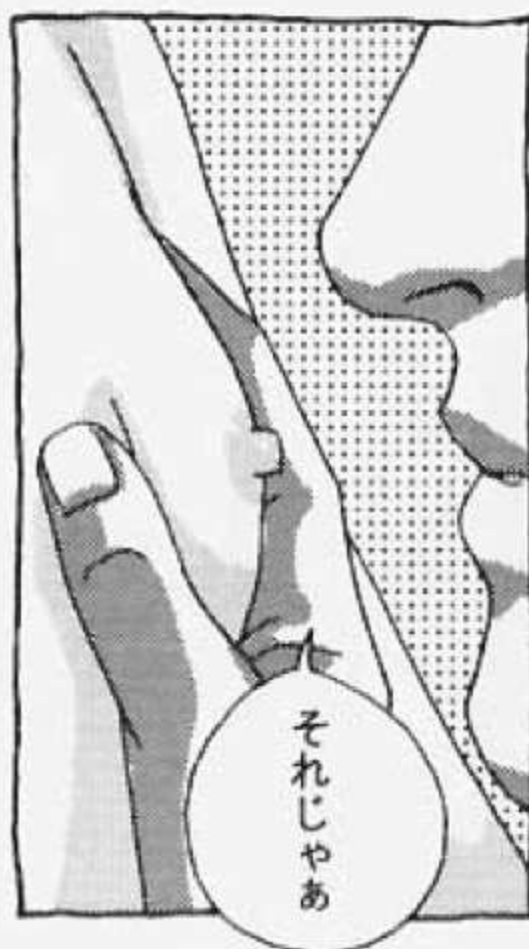


わたし
キスして
いただいた時
とても
うれしかったん
です

役立たずな
わたしを
一人の女の子
として
認めて
くれたんだって













あ??

はあ

はあ

はあ



聞かないで
ください



男の人が
おおいかぶさってくると
わたしの体はその下に
すっぽりとかくれてしまう

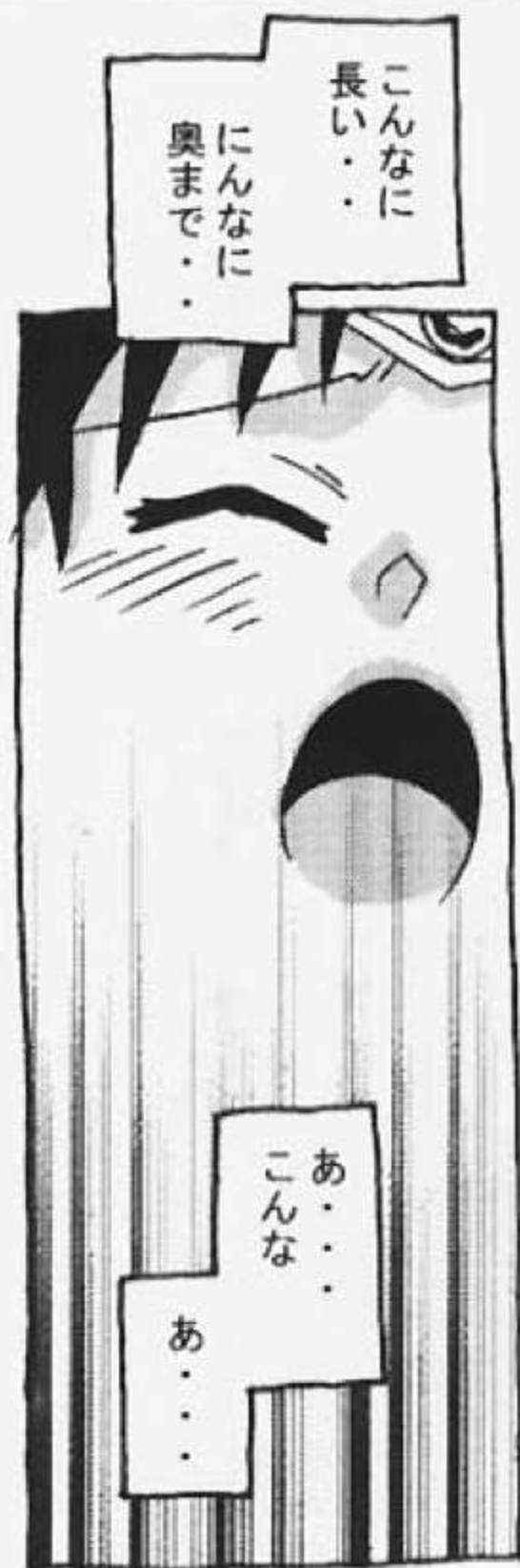
やっぱり怖い・・・
身動きは
ぜんぜんできない



下から熱くて大きな
かたまりが
つき上がってきた

どうどう
しちやうんだ

あ



こんなに
長い・・・

にんなに
奥まで・・・

あ・・・
こんな

あ・・・



あ・・・
入って・・・きた
入って・・・

すごい・・・
こんな

まだ・・・
まだ入ってくる
わたしのの中に

男の人の形が
わかる

すごい・・・







つながってる
とこで
ほたるちゃんを
かんじるよ



ほろ



痛くは
ありません
少し
苦しい
ですけど



大丈夫
です

痛くない



わたしも

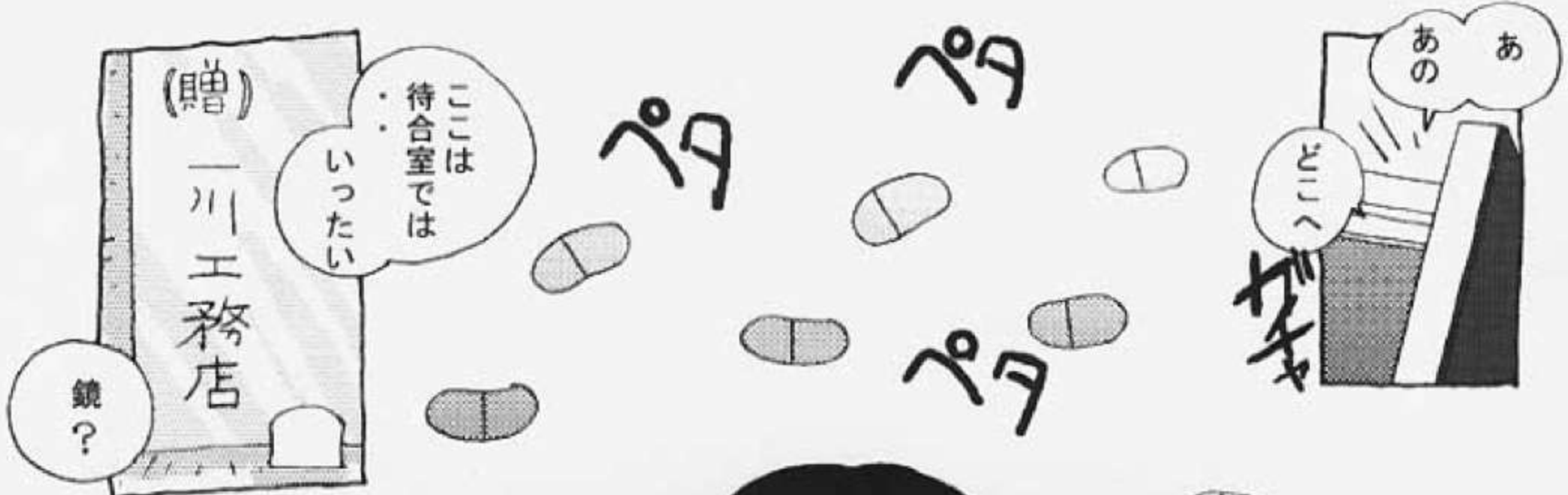
感じます

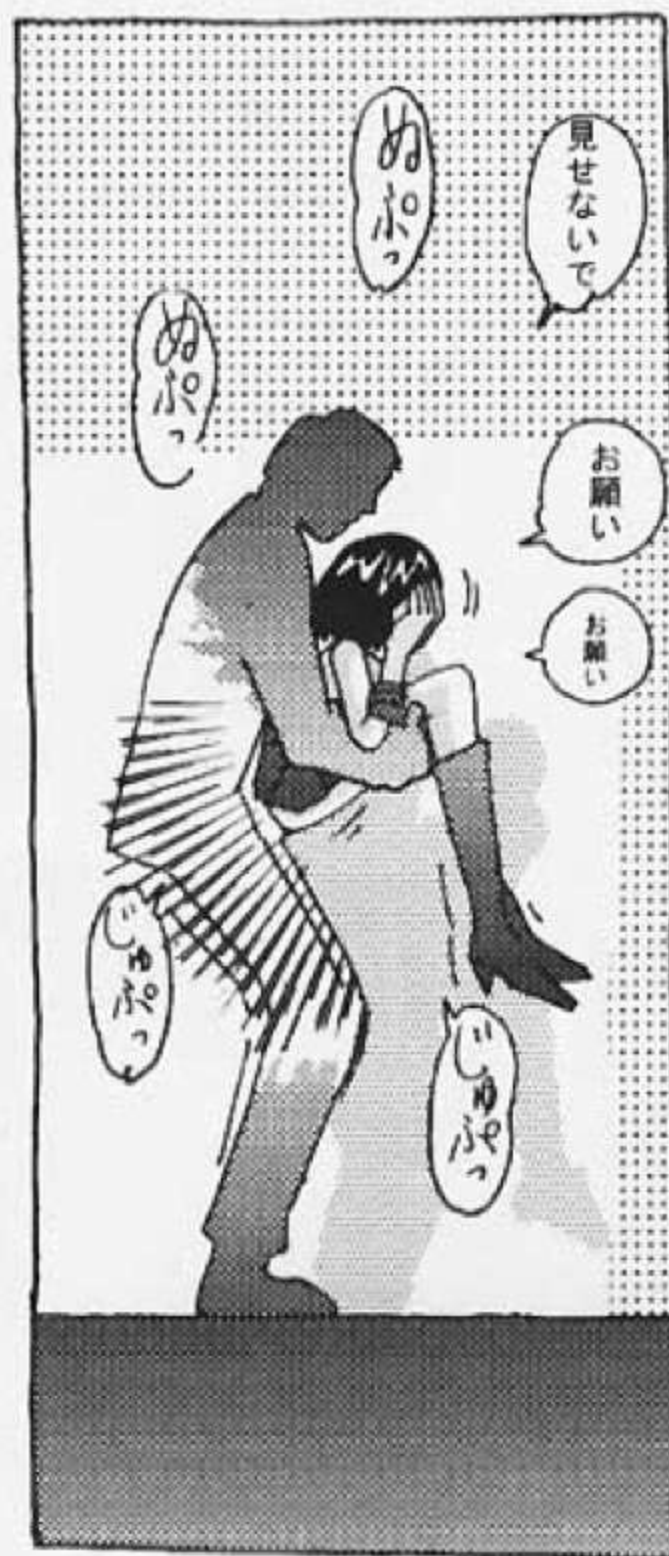
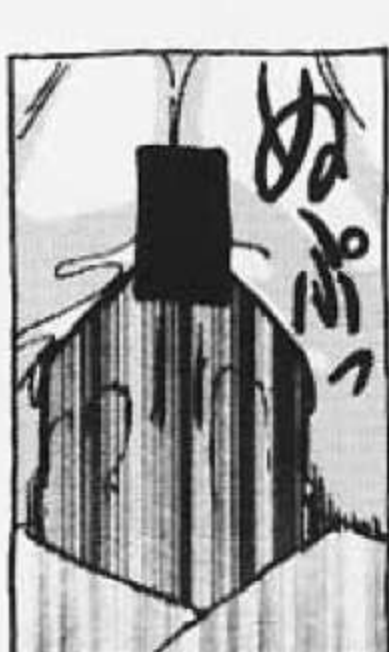
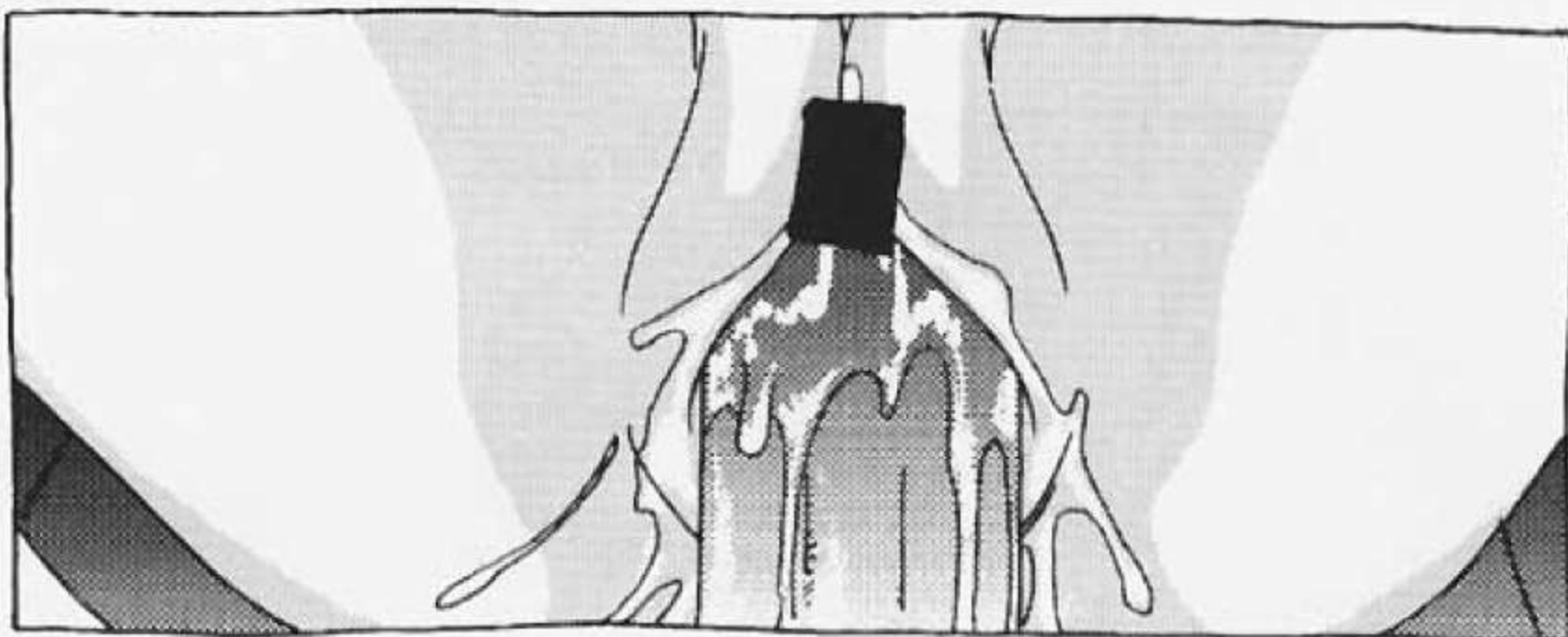


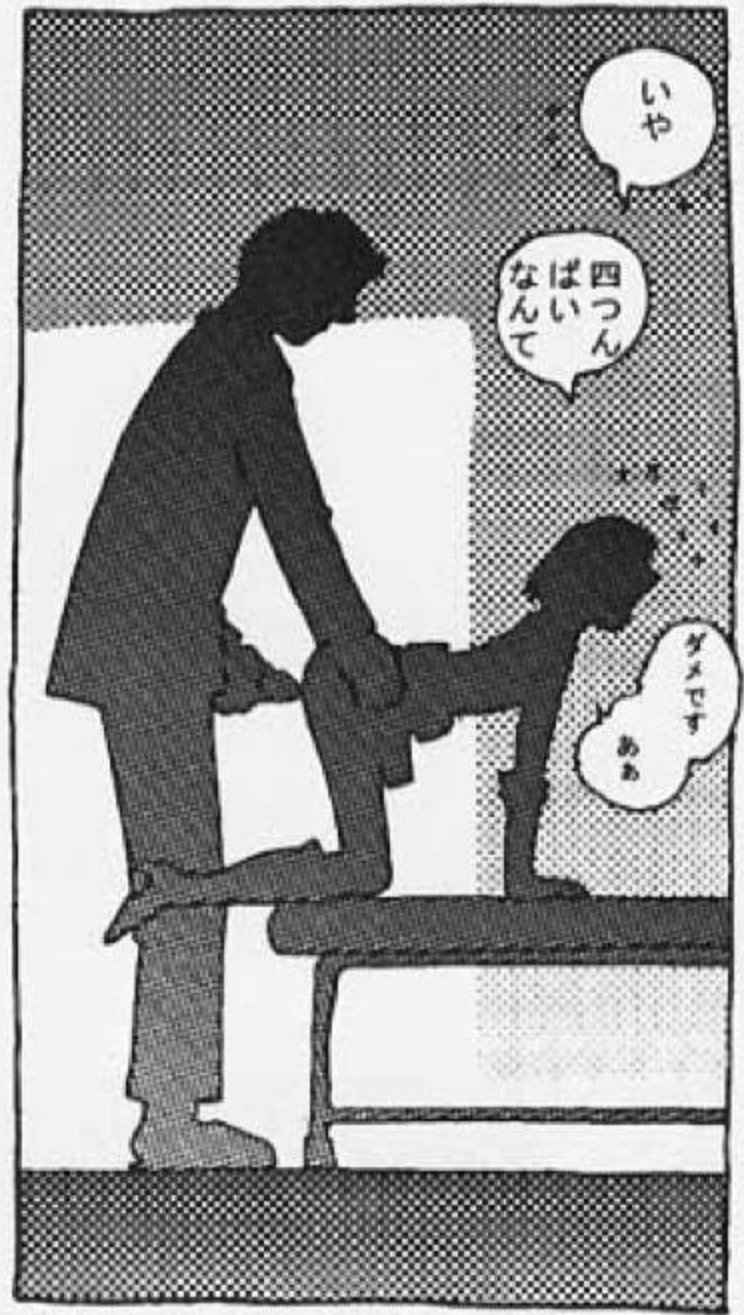


あ
ほら
お話とかで
ありますよね

愛する二人が
一つになった
って
表現が









小学生でこんなことしてるなんて



ん

Hだよー



は
は
は



ん
ん
ん



あ
あ
あ

たまらず
声がもれた

一度出てしまうと
歯止めが
きかなくなる



あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

よし
このまま
スパート



あ

あ

あ

あ
あ
あ



あ

あ

あ
あ
あ

彼女の体が
小刻みにふるえ
意味不明なことを
口走る

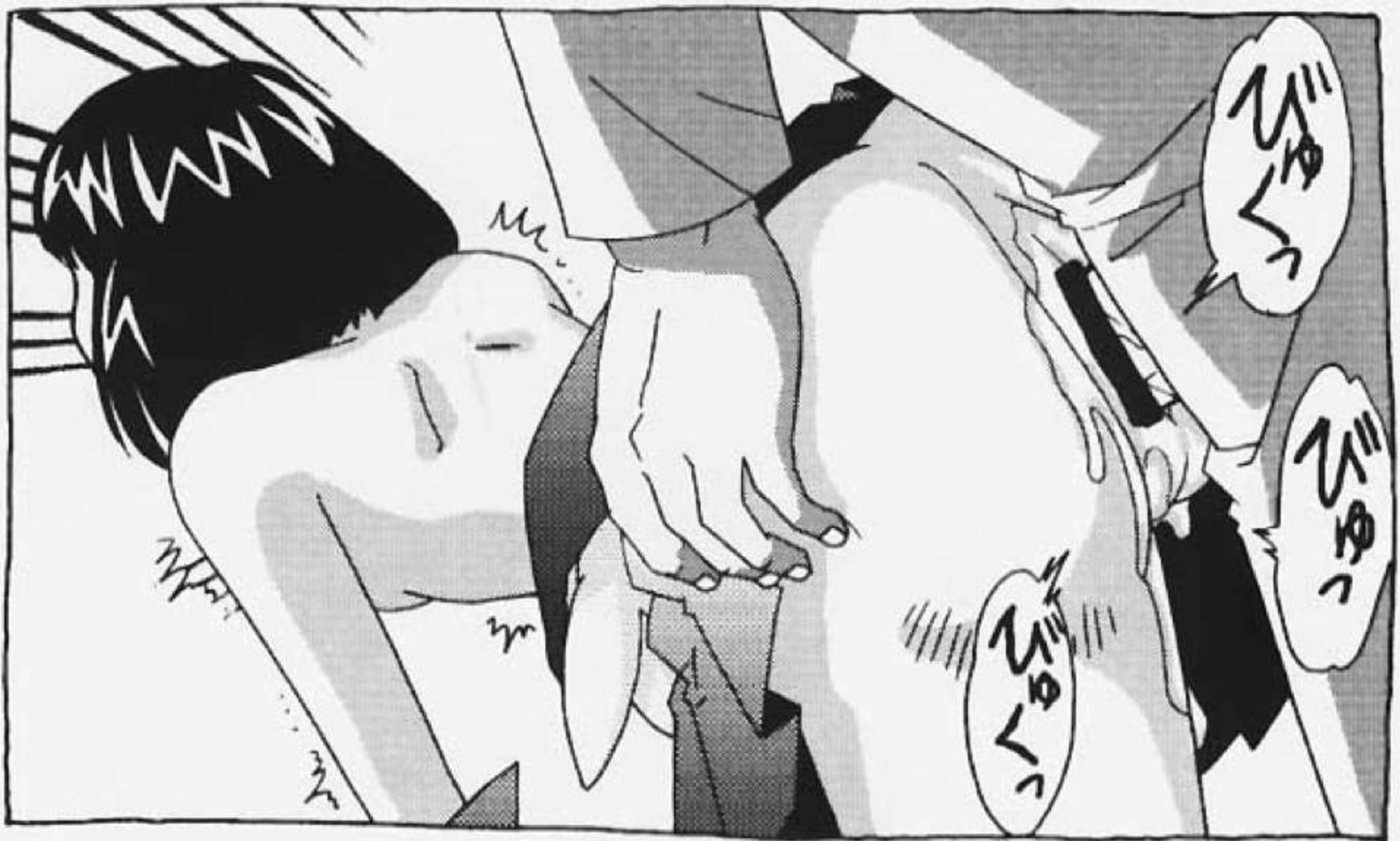


あ
あ
あ

あ
あ
あ

そして
ついでに





彼女の表情が
少し曇った

覚悟していた
とはいえ
いきなりのことに
シヨックを
受けたようだった

ぬ
ぽっ

フオローを
いれておこう

と
う
う

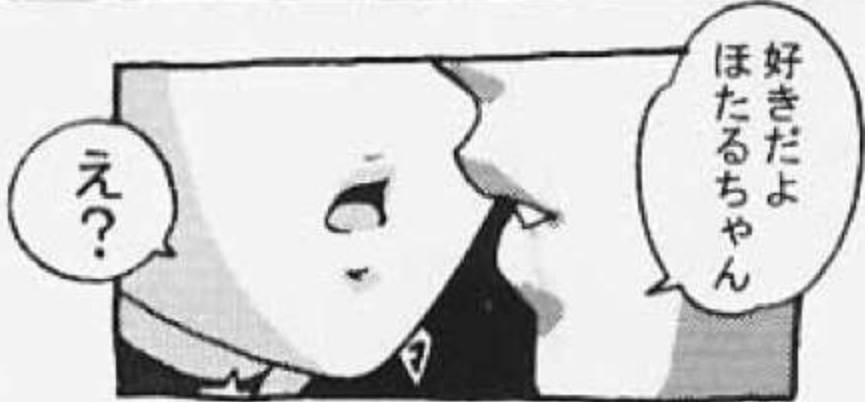


深いキス



好きだよ
ほたるちゃん

え？



あ



ぽ
ぽ
ぽ

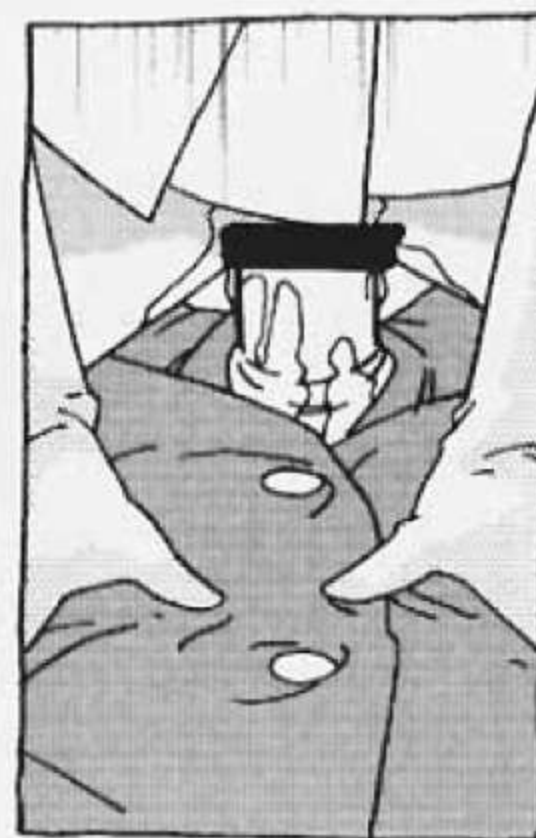
あ

まず
優しく
抱きしめながら

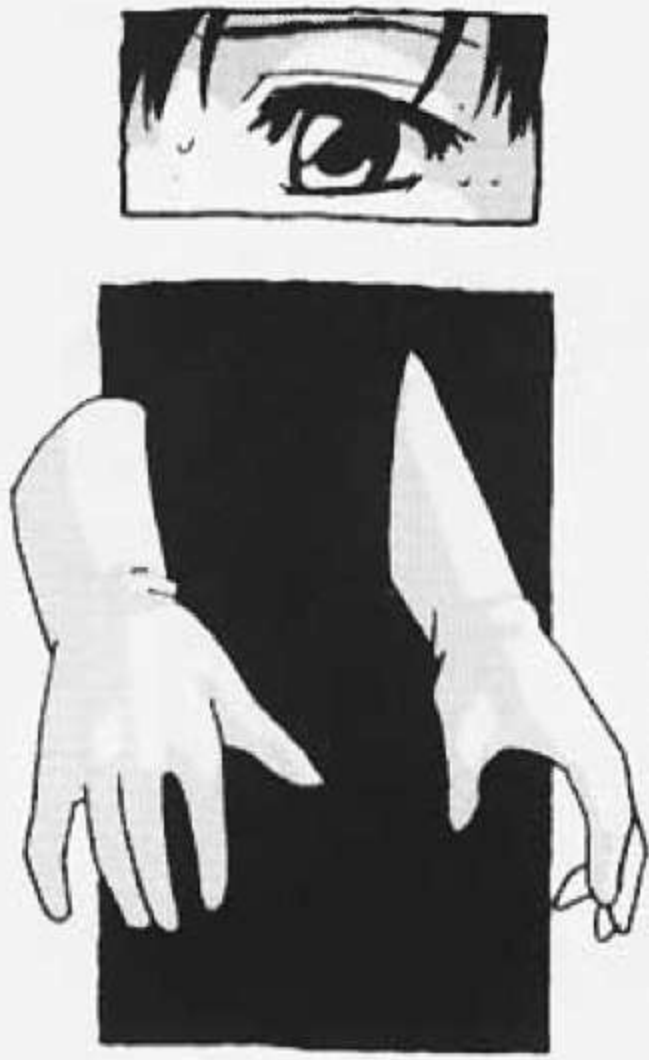










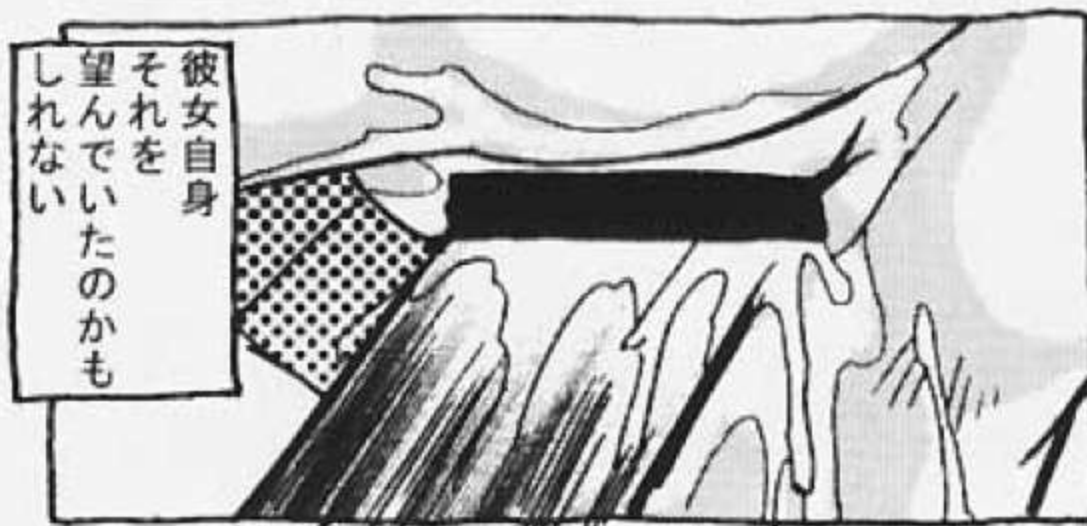
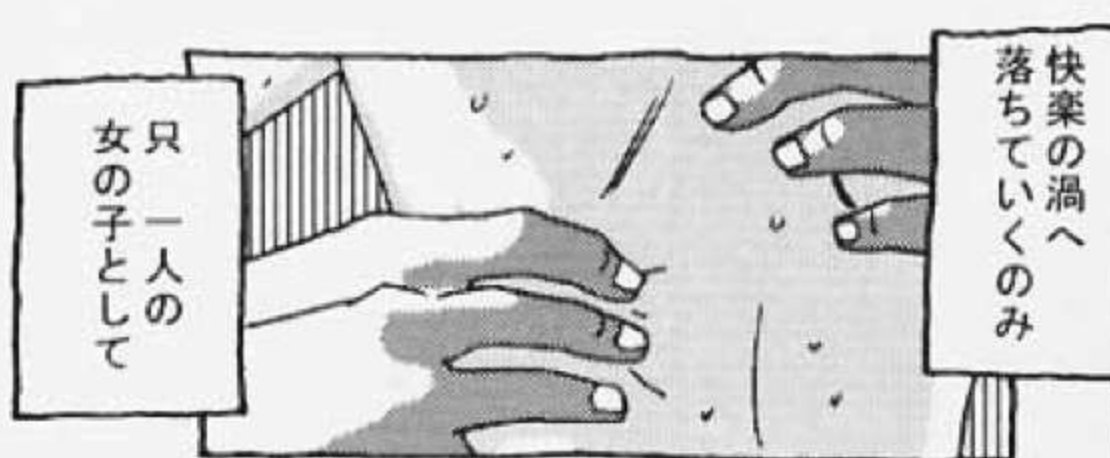


彼女が自分から
体を密着させて
すべてを
あずけてきた



本能的に
腰を上げしくふり
少しでも多くの
快感を得ようとする





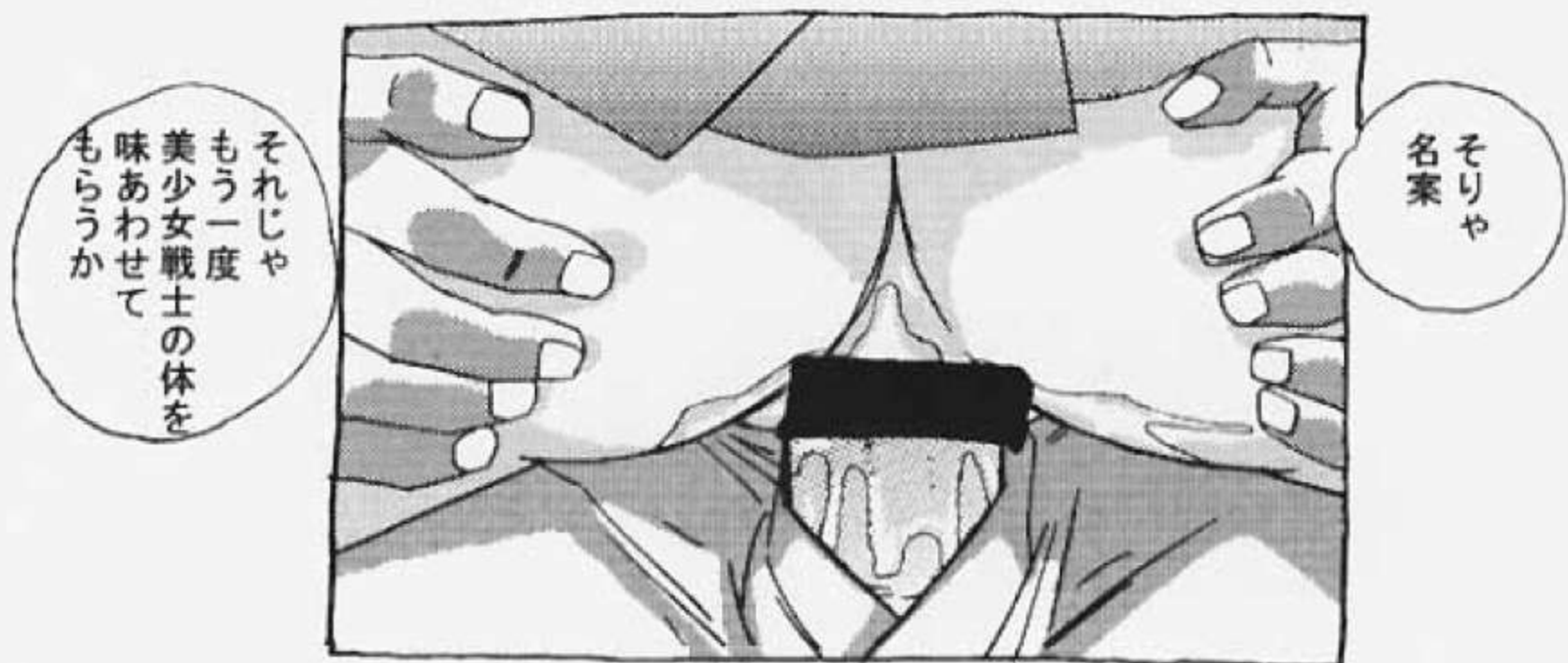
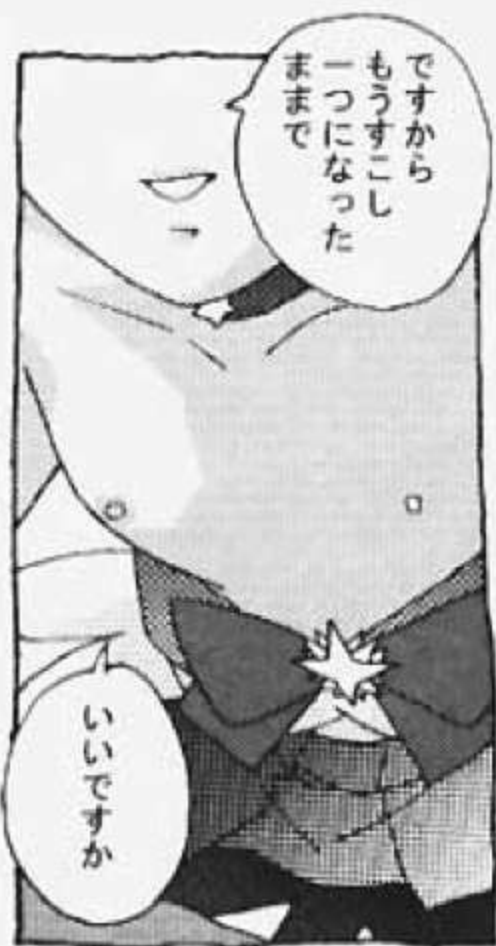




その小さな体の奥に
精液をそそぎ込まれ
いつている姿は
なかなか刺激的だった



小学六年生の
美少女戦士が
自分の腰に乗り
ペニス挿れられたまま





おしま



18禁